

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11) 特許出願公開番号

特開2011-153504

(P2011-153504A)

(43) 公開日 平成23年8月11日(2011.8.11)

(51) Int.Cl.

E03C 1/264 (2006.01)

F 1

E03C 1/264

テーマコード (参考)

2D061

審査請求 未請求 請求項の数 3 書面 (全 6 頁)

(21) 出願番号 特願2010-29462 (P2010-29462)
(22) 出願日 平成22年1月26日 (2010.1.26)

(71) 出願人 392028767
株式会社日本アルファ
三重県三重郡朝日町大字小向558番14
(74) 代理人 100090619
弁理士 長南 満輝男
(72) 発明者 川瀬 敏行
三重県三重郡朝日町大字小向558番14
株式会社日本アルファ内
Fターム(参考) 2D061 DA01 DA02 DB03 DE11 DE15

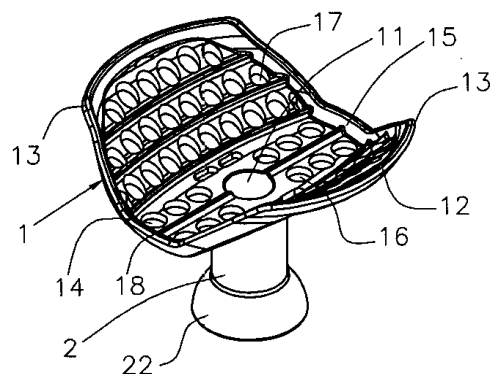
(54) 【発明の名称】 ヘアーキャッチャー

(57) 【要約】

【課題】 目詰まりしないよう、そして清掃しやすいように毛髪やごみなどが纏められるように試みたが、効果的な捕集、堆積が容易でなく、且つ、この廃棄が容易でなかった。

【解決手段】 排水口に装着され、毛髪やごみなどを捕集、堆積するヘアーキャッチャーにおいて、その捕集ネットがV字型であって、その立上がり傾斜面の端部を排水口に沿うように湾曲し、その上、捕集ネットに形成される目穴は、全て垂直方向への抜き穴とするものである。そして、捕集ネットの表面の目穴と目穴との間には、山形の凸部が施されているものである。

【選択図】 図2



【特許請求の範囲】

【請求項 1】

排水口に装着され、毛髪やごみなどを捕集、堆積するヘアーキャッチャーにおいて、その捕集ネットが V 字型であって、その立上がり傾斜面の端部は排水口に沿うように湾曲されていることを特徴とするヘアーキャッチャー。

【請求項 2】

捕集ネットに形成される目穴は、全て垂直方向への抜き穴であって、捕集ネットの表面の目穴と目穴との間には、山形の凸部が施されていることを特徴とする請求項 1 に記載のヘアーキャッチャー。

【請求項 3】

捕集ネットの目穴が、V 字型の谷に沿った目穴を同じ大きさの目穴で形成され、他の V 字型の立上がり傾斜面の目穴をそれよりもやや小さめの同じ大きさの目穴で形成されていることを特徴とする請求項 1 乃至 2 のいずれか 1 項に記載のヘアーキャッチャー。

【発明の詳細な説明】

【技術分野】

【0001】

本発明は、洗面ボウルや浴槽などの排水口に装着される毛髪やごみなどを捕集するヘアーキャッチャーに係るものであって、詳しくは、毛髪やごみなどが捕集、堆積しやすく、その捕集、堆積した毛髪やごみなどの水切れを良くし、剥離しやすくするヘアーキャッチャーに関するものである。

【背景技術】

【0002】

排水性能の低下を防ぐと共に、清掃性を向上させるという目的で、排水栓支持軸の昇降摺動をする筒状軸に、複数の下方向へ略円錐形状に広がる捕集リブでなる俯角捕集面と、該捕集リブの先端から連続して上方向へ延設する捕集リブによる仰角捕集面とでなる断面 V 字状リングの捕集ネットを備えたヘアーキャッチャーがある（特許文献 1）。

【0003】

また、排水の流れを利用して、中央部に毛髪やごみを良好に集中させるという目的で、平面視が円形状をなし、この円周部付近を頂点としての下向傾斜平面を形成して、該下向傾斜平面を交叉させ、前記円周部から逆円錐台状に傾斜曲面を形成して、前記下向傾斜平面の外縁と交わらせて構成し、これら下向傾斜平面及び傾斜曲面には、多数の排水穴を形成した捕集ネットでなるヘアーキャッチャーがある（特許文献 2）。

【先行技術文献】

【特許文献】

【0004】

【特許文献 1】 特開 2007-85102

【特許文献 2】 特開 2007-182711

【発明の概要】

【発明が解決しようとする課題】

【0005】

俯角捕集面と仰角捕集面とで構成された断面 V 字状リングの捕集ネットでなるヘアーキャッチャーは、断面 V 字状リングの底部に毛髪やごみなどが纏まるので容易に取除けそうであるが、毛髪やごみなどがリング状に捕集、堆積してしまうので、筒状軸に挿通された支持軸を抜き取らないかぎり支持軸に連なる排水栓に引掛かって、取除き難いという不都合がある。

【0006】

また、下向傾斜平面及び傾斜曲面の捕集ネットでなるヘアーキャッチャーは、捕集ネットが傾斜平面及び傾斜曲面の立上がりの円周部によって構成されているので、折角、下向傾斜平面の交叉部に毛髪やごみ等を纏めることが出来たにもかかわらず、その円周部が邪魔して、簡単な取除きに苦慮する結果となり、不都合であった。

【課題を解決するための手段】

【0007】

本発明のヘアーキャッチャーは、排水口に装着され、毛髪やごみなどを捕集、堆積する捕集ネットがV字型であって、その立上がり傾斜面の端部が排水口に沿うように湾曲されていることを特徴とするものである。

【0008】

本発明のヘアーキャッチャーは、捕集ネットに形成される目穴が全て垂直方向への抜き穴であって、捕集ネットの表面の目穴と目穴との間には、山形の凸部が施されていることを特徴とするものである。

【0009】

本発明のヘアーキャッチャーは、捕集ネットの目穴が、V字型の谷に沿った目穴を同じ大きさの目穴で形成され、他のV字型の立上がり傾斜面の目穴をそれよりもやや小さめの同じ大きさの目穴で形成されることを特徴とするものである。

【発明の効果】

【0010】

本発明のヘアーキャッチャーは、捕集ネットがV字型であって、その立上がり傾斜面端部が排水口に沿うように湾曲されているので、それに沿って流れる排水は、V字型の捕集ネットが障壁となって毛髪やごみなどを捕集し易くし、押し流して降下させてV字型の谷に纏め、清掃時に、一方向への掻き取りで取除き排除することができる。

更に、排水口に流された毛髪やごみなどの捕集、堆積が捕集ネットのV字型の深い谷に纏められるので、目詰まりによる溢れ出しを回避できる。

尚、更に、捕集ネットに捕集、堆積した毛髪やごみなどは、捕集ネットがV字型であるために、水切れが良く、捕集ネットよりの剥離除去に都合よいばかりでなく、衛生面でも菌の発生を防止でき、都合がよい。

本発明のヘアーキャッチャーは、V字型の立上がり傾斜面の端部が排水口に沿うよう曲円状に湾曲されているので、排水口とヘアーキャッチャーとの間で無理の無い排水流を作り出すことができ、毛髪やごみなどの捕集に都合がよい。

【0011】

本発明のヘアーキャッチャーは、捕集ネットに形成される目穴が全て垂直方向への抜き穴であるため、排水抵抗が小さく、目穴を通して落下していき、大量の排水濾過処理が出来る、且つ、効率よく毛髪やごみなどが捕集されることになる。

本発明のヘアーキャッチャーは、捕集ネット表面の目穴と目穴との間に山形の凸部が施されることによって、捕集ネットで捕集され、堆積される毛髪やごみなどとの接触面積を小さくでき、接触面積が小さいが為、清掃の際の剥離除去が容易に出来、好都合である。

【0012】

そして、本発明のヘアーキャッチャーは、特に、捕集ネットのV字型の谷となる稜線に沿った目穴が、立上がり傾斜面の目穴より大きめの目穴にされているので、捕集ネットのV字型の谷に纏められた毛髪やごみなどの水切れを一層良くし、剥離除去に都合がよい。

【図面の簡単な説明】

【0013】

【図1】 捕集ネットがV字型であるヘアーキャッチャーの排水口への装着状態図である。

【図2】 捕集ネットがV字型であるヘアーキャッチャーの全体図である。

【図3】 捕集ネットがV字型であるヘアーキャッチャーの上面図である。

【図4】 捕集ネットがV字型であるヘアーキャッチャーの側面図である。

【図5】 捕集ネットがV字型であるヘアーキャッチャーの縦断面図である。

【発明を実施するための形態】

【0014】

本発明のヘアーキャッチャーを図面に基いて説明すると、図1に示す如く、排水口金具

10

20

30

40

50

が表面に顕われなく、見えないようにしたフランジレス排水口 30 を備えた洗面ボウル 3 などに、排水継手 5 が接続され、この排水口 30 には、ヘアーキャッチャー 10 が配設され、排水栓 4 の支持軸 41 が挿通される。そして、リリースワイヤの作動部 6 が支持部材 7 をもって排水継手 5 に支持されている。

図 2、図 3 及び図 4 に示す如く、排水口 30 に装着されるヘアーキャッチャー 10 は、捕集ネット 1 と、該捕集ネットの中央に開口した排水栓 4 の支持軸 41 が挿通される挿通穴 11 に垂下した、支持軸 41 を挿通摺動させる筒状軸 2 とでなる。

捕集ネット 1 は、毛髪やごみなどを捕集、堆積する V 字型であって、その立上がり傾斜面 12 の端部 13 は、排水口 30 に沿うよう曲円状に湾曲する湾曲面を形成している。

捕集ネット 1 に形成されている目穴 14 は、全て垂直方向への抜き穴であって、V 字型の谷 15 となる稜線に沿っての目穴 16 が同じ大きさの丸穴で形成され、その他の目穴 17 は V 字型の谷 15 となる稜線に沿っての目穴 16 よりやや小さめの同じ大きさの丸穴でなっている。

捕集ネット 1 表面の V 字型の谷 15 となる稜線位置、及び該稜線と並行な目穴 16、17 の間には、山形の凸部 18 が施されている。

ところで、筒状軸 2 は、図 5 に示す如く、その内周側壁上方部に排水栓支持軸 41 の摺動部 21 を形成し、下端には、該摺動部に摺動する排水栓支持軸 41 の下に、リリースワイヤによる遠隔操作で排水栓 4 を昇降させるその作動部 6 の支軸 61 が位置されるようにガイドするガイド部 22 が設けられている。

【0015】

そこで、排水栓 4 の支持軸 41 を筒状軸 2 に摺動挿通させたヘアーキャッチャー 10 を排水口 30 に設置し、排水栓の支持軸 41 をリリースワイヤの作動部 6 の支軸 61 の上に位置させて、作動部 6 の遠隔操作による排水栓 4 の昇降によって排水口 30 の開閉が行われることになる。

そして、排水栓 4 による排水口 30 の開口によって、排水が、ヘアーキャッチャー 10 の捕集ネット 1 に流れる。

捕集ネット 1 は V 字型であり、その立上がり傾斜面 12 の端部 13 が排水口 30 に沿うよう湾曲されているので、排水口 30 と捕集ネット 1 との間では無理の無い水流を作り出し、毛髪やごみなどの捕集、堆積がされ、V 字型の谷 15 の深い位置へと纏めることができ、また、捕集ネット 1 の目穴 14 を全て垂直方向への抜き穴とするので排水の流れをよくし、効率良い。よって、毛髪やごみなどの捕集を大量にし、しかも、V 字型の谷 15 となる稜線位置への纏め堆積が簡単かつ容易にされる。

ヘアーキャッチャー 10 に毛髪やごみなどを捕集、堆積したときでも、捕集ネット 1 が V 字型であるので水切れを良くし、清掃の時には、ヘアーキャッチャー 10 を排水口 30 より抜き取って、振り落とすだけでも剥離し易く、まして、捕集ネット 1 には毛髪やごみなどの剥離がし易いように、その表面に山形の凸部 18 が施されているので、極めて簡単に取除くことができる。

尚、捕集ネット 1 の V 字型の谷 15 となる稜線に沿っての目穴 16 が立上がり傾斜面の目穴 17 より大きめの目穴にされているのでより一層の水切れを良くし、V 字型の谷 15 の深い位置へと纏められた毛髪やごみなどを剥離除去し易くできる。

【符号の説明】

【0016】

- 10 ヘアーキャッチャー
- 1 捕集ネット
- 11 挿通穴
- 12 立上がり傾斜面
- 13 端部
- 14 目穴
- 15 V 字型の谷
- 16 目穴

10

20

30

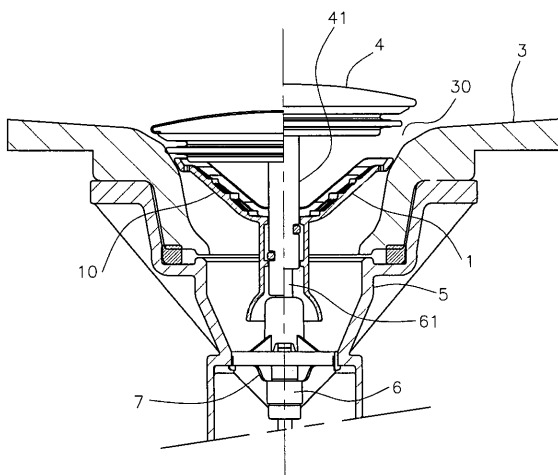
40

50

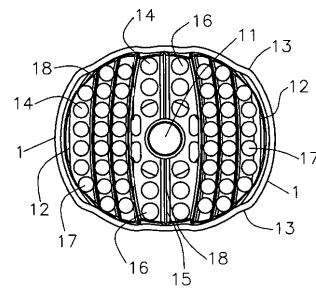
- 1 7 目 穴
- 1 8 山形の凸部
- 2 筒状軸
- 2 1 摺動部
- 2 2 ガイド部
- 3 洗面ボウル
- 3 0 排水口
- 4 排水栓
- 4 1 支持軸
- 5 排水継手
- 6 作動部
- 6 1 支軸
- 7 支持部材

10

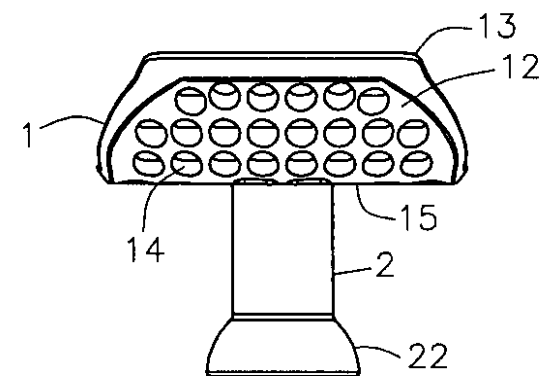
【図 1】



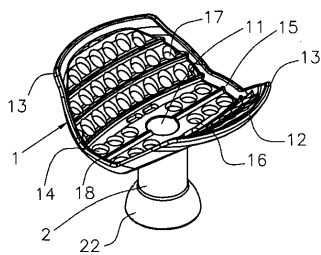
【図 3】



【図 4】



【図 2】



【図 5】

